

<平成29年度 ハローオリンピズム事業>

# オリンピック教室

実施報告書

神奈川県 川崎市立田島中学校





現行の学習指導要領は平成21年（2009）4月に公示され、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが明確化されました。そこには、中学校3年生の保健体育の「体育理論」の学習内容に、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会等は、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること」とオリンピックの意義が明示されております。

これを受けて日本オリンピック委員会（JOC）では、平成23年度（2011）から、体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施しております。

近代オリンピックの創始者ピエールド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表として実際にオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められております。このようなオリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることも期待しております。

「オリンピック教室」の授業は、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）及びオリンピック精神の教育的価値等を伝えます。また同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことの出来るものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身に学習してもらうこともねらいとしております。

平成23年に施行された「スポーツ基本法」の前文の一部に「スポーツは、世界共通の人類の文化であり、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである」との記述があります。生徒のみなさんが「オリンピック教室」で学習する内容は、まさにこの基本法に記された精神や態度等を日常生活の中へ具現化することを後押しするものであると考えています。

平成29年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会



- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）  
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 平成29年4月～平成30年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 50校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目  
運動の時間 (50分)



2時限目  
座学の時間 (50分)



※学校の通常の授業時間をベースに実施  
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります



## 1時限目

### 運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、  
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

#### 挨拶（5分）

#### 準備体操（10分）

#### 主運動（30分）

#### まとめ（5分）



自己紹介  
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動  
（作戦タイム等を受け、  
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

## 2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、  
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に  
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると  
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

### 座学の時間

#### 挨拶・自己紹介（10分）

#### オリンピックの価値を伝える（10分）

#### グループワーク（20分）

#### まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用  
した自己紹介



オリンピック自身の経験に  
基づく「オリンピックの価値」等  
を伝える



グループ（個人）ワークで  
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます



## 実 施 内 容

- 期 日 : 平成30年1月11日 (木)
- 場 所 : 川崎市立田島中学校
- ク ラ ス : 2年1組 (41名) 2年2組 (41名)
- オリンピアン : 伊藤 華英 先生 (水泳・競泳)
- 授業のながれ : 運動の時間 (1時限、3時限)

### 1. 自己紹介～授業の目的確認



・伊藤先生から自己紹介をした後、オリンピックシンボルの意味を紹介。「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」の3つのオリンピックバリューについて簡単に説明し、今日の授業ではバリューを意識して取り組んでほしいと伝え、準備体操へ移る。

### 2. 準備体操



### 3. 主運動



・3チームに分かれて8の字跳びを実施。伊藤先生からはしっかり声を出し、助け合うようにアドバイスを送り、「跳ぶ順番を変える」「回す縄を短くする」「丁寧に跳ぶ」「声を出す」等の工夫をして、より多く跳ぼうと積極的に取り組んでいた。

### 4. まとめ



・授業冒頭で紹介したオリンピックバリューを声に出して確認し、次の座学の時間では、伊藤先生の現役生活を振り返り、オリンピックバリューについてより詳しく説明するので、皆にも考えてもらいたいと予告して、授業終了。



# 実 施 内 容

## ■ 授業のながれ： 座学の時間（2時限、4時限）

### 1. 自己紹介と授業の目的を確認



### 2. オリンピックの価値を伝える



- ・クーベルタンがオリンピックに込めた思いを紹介。勝ち負けを競うだけではなく、世界中の人がスポーツを通してひとつになるのがオリンピックであると説明。
- ・北京大会、ロンドン大会の写真を見せながら、伊藤先生がオリンピックに出場した経験をオリンピックバリューに当てはめて説明。

### 3. グループワーク



- ・発問：皆の生活の中にあるオリンピックバリューについて考える。
- ・発表：当たり前を当たり前にする、日々の練習に全力で取り組む(エクセレンス)、チームへの声掛けや仲間との交流を大切にする、失敗しても励まし合い互いに協力する、挨拶をする(フレンドシップ)、ライバルを認める、支えてくれる人に感謝する(リスペクト)等の意見が挙げられた。

### 4. まとめ



- ・オリンピックバリューは普段の生活の中でも感じられるものであり、皆にとっても身近なもので、これから成長していく中で、多くの人と出会い、自分の考えを持ち、夢を実現してほしいと話す。平昌2018冬季大会、東京2020大会でも、勝敗だけではなくバリューを意識しながら、選手を見てほしいと伝え、授業終了。



## 実 施 内 容

- 期 日 : 平成30年1月11日 (木)
- 場 所 : 川崎市立田島中学校
- ク ラ ス : 2年3組 (42名)
- オリンピアン : 伏見 知何子 先生 (スキー・スノーボード)
- 授業のながれ : 運動の時間 (5時限)

### 1. 自己紹介～授業の目的確認



・伏見先生から簡単に自己紹介した後、今日は伏見先生がオリンピックに出場するまでに感じたオリンピックバリューを伝えると授業の目的を確認。運動の時間では、バリューを意識しながら、楽しく取り組もうと呼び掛け、準備体操に移る。

### 2. 準備体操



### 3. 主運動



・2班ずつ3チームに分かれて8の字跳び(90秒×3回)を実施。制限時間内に跳んだ合計回数を競い、引っ掛かっても続きから数える。各回終了後作戦タイムを設け、「縄を短くした」「体を小さくして跳んだ」「跳ぶ人をよく見ながら縄を回す」等より多くの回数跳べるように取り組んだ。

### 4. まとめ



・座学では、オリンピックバリューについてさらに詳しく説明し、オリンピックに対するイメージ等も質問するので、運動の時間に実践できていたバリューを考えながら教室に戻ってほしいと伝え、授業終了。



# 実施内容

## ■授業のながれ：座学の時間（6時限）

### 1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・伏見先生から改めて自己紹介をし、実際に使用していたボードを見せながら、競技について紹介。
- ・近代オリンピックの復興について説明し、よりよい人生を生きるために大切な価値観としてオリンピックバリューを説明。

### 2. オリンピックの価値を伝える



### 3. グループワーク



- ・発問：運動の時間を振り返り、考えたことや工夫したことを書き出そう。
- ・発表：楽しんで取り組んだ、失敗してもめげなかった(エクセレンス)、声を出し声を掛け合った、回す人とリズムを合わせて跳んだ(フレンドシップ)、失敗しても責めなかった(リスペクト)等の意見が挙げられた。

### 4. まとめ



- ・オリンピックバリューはアスリートだけのものではなく、誰もが共有できる価値観であり、皆の日常生活の中にもバリューを活かすことができる場面がたくさんあると伝え、授業終了。



■ 集合写真

2年1組



2年2組





■ 集合写真

2年3組



■ 記念品贈呈

2年1組



2年2組



2年3組



■ 証明書贈呈

